

あいさつ



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町政の舵を取らせていただき2年目となり、様々な場面で町民の皆様の声をお聞きしますと、まちづくりへの熱い思いが感じられ、その重責に身が引き締まる思いです。

白鷹町のまちづくりは、町民と創りあげる「共創のまちづくり」を理念として進めて参ります。町民の皆様と町がそれぞれの役割と責任の下、相互の立場を尊重し、情報を共有しながら、対等な関係に立って協力していく協働の理念を踏まえ、よりお互いが対話を通して意識を高め合い、創造、発展していくことを目指します。

この理念をもとに各種施策を展開していきます。第1に、「安心で住みよいまちづくり」として、町民が安全で安心して暮らせる社会を実現するため、出産・育児に対する精神的、経済的な不安を少しでも解消できる切れ目のない支援策などにより、子育てしやすい環境づくりを進めます。また、荒砥橋架け替えの整備促進、フラワー長井線の存続など地域公共交通の確保、健康・福祉・医療の充実や環境保全、地域の安全・安心の確保に向けた取り組みを行います。

第2に、「活力あるまちづくり」として、景気・雇用対策を重点に、企業誘致、受注拡大活動の推進と既存企業の支援、町内消費拡大策を展開していきます。また、農業・工業・商業・観光などそれぞれの分野で連携し、本町の特色ある地域資源と調和した新たな産業発展の仕組みづくりを進めている白鷹プロジェクトを推進するとともに、持続可能な農業振興を図るために、地域農業活性化センターを核にした事業などを行います。

人口減少、少子化の進行は、地域コミュニティの低下や担い手不足、伝統文化の衰退に大きな影響を及ぼします。このことから、第3に、「未来を担う人づくり」として、荒砥高校存続に向けた活動、学校教育の充実、生涯学習や芸術文化活動などを進めていきます。

あらためて、町を想いますと美しい「おらだのふるさと」の響きであります。この受け継がなければならない白鷹の未来に続く再生が、私たちのまちづくりの責務と考えております。人・知恵・風土・文化などを活かす地域生活圏創造であり、人間性回復につなぐ共創のまちづくりを進めて行きたいと思っております。

世界的規模の社会経済変動が私たちの生活に直接影響する状況の中で、皆様とともに、英知を結集し果敢に取り組むことが必要と考えています。本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力を傾注してまいりますので、町民の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びにあたり、公職選挙法への私の認識不足により、結果として町民の皆様にご迷惑をおかけしてしまったことにつきましては、不徳のいたすところであり、深く反省し、お詫び申し上げます。

本年が皆様にとりましてすばらしい年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

白鷹町長 佐藤 誠 七



萩野大日堂と白鷹山



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられ謹んでお慶び申し上げます。いつも年頭に思う事は、地球上においてさまざまな事件・事故、そして自然災害などによって多くの尊い命が失われている中で、穏やかな年の瀬を迎え、そして新しい年を迎えられることの出来る幸せを常に忘れてはならないものであることを改めて

考えるものであります。

昨年の世相を表す一文字が「新」に決まりました。民主党を中心とする新政権の誕生や、イチロー選手が樹立した新記録・新型インフルエンザの猛威などが理由のようであります。中でも、戦後一貫して続いた自民党を中心とした政権に替わって、民主党中心の新政権が誕生した事は、政治の末端に係わる者の一人として激震が走った様な驚きがありました。「地方主権・脱官僚・コンクリートから人へ」、次々に打ち出されるマニフェスト、国民が注目する中で今、政権与党として生みの苦しみの中で頑張っておられる訳ですが、これからの日本丸を間違いない方向へ導いてくれる事を願うものであります。

昨年は、白鷹町も誕生して55周年を迎え数多くの記念事業に取り組んでまいりました。中でも、鮎貝土地地区画整理事業の中核施設であり、文化・交流・人づくりの拠点となる「あゆむ」が10月4日にグランドオープンいたしました。合わせて会場にて多くのご来賓を迎え式典が盛大に執り行われました。この施設の完成にあたっては、町民のかたがた、そして議会において大変な議論の末に誕生した施設であります。人材育成・均衡ある町の発展を願っての施設建設であり、今後の白鷹町の文化・交流の発信拠点としての利活用に大いに期待するものであります。

さて、わが町も誕生以来、「快適で豊かな田園都市の創造」を目標としながら、平成12年から始まった第4次総合計画では、「人・自然ともにきらめき心豊かな美しい郷」を将来像として諸施策に取り組んできた訳ですが、10年の最終年を迎え平成22年度より第5次総合計画が策定されます。一昨年の秋以降続く世界同時不況が未だに回復しない中での策定になりますが、この白鷹の「自然」そして「人」を最大限生かしながら魅力あるまちづくりのため全力を注がなければならないと考えるものであります。

議会はこの2年間の研修を、総務省への陳情などに絞ってまいりました。それは、現在まで施行されてきた過疎法が、平成23年3月をもって10年の期限を迎えるからであります。自主財源の少ない自治体にとって必要不可欠な法律ですので、期限延長に向け、議会一丸となって頑張る所存であります。

以上、年頭にあたり所感の一端を申し上げ、町民の皆さまのご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

白鷹町議会議長 船山 仁

年頭のご



寅 2010



新年明けましておめでとうございます。
今年も年男・年女のかたがた（12人）にインタビュー
させていただきました。
新年の抱負や町への思いなどを語っていただきました。



去年は、社会人1年目ということで学生時代とは全く違う環境に戸惑いながらも、先輩のアドバイスをいただきながら1年を無事に終えることができました。今年は後輩が入ってくるので、きちんと業務に務めながら、私が先輩から良くしていただいたように、後輩の面倒を見れるようなしっかりした社会人になりたいと思います。今は日々の仕事や資格試験などで忙しい毎日ですが、少し余裕ができたなら小さいころから習っていたエレクトーンに取り組んでみたいと思います。

私は、学生時代を県外で過ごしましたが、町には自然や景色など良いところが残っているので、県外のかたにも知ってもらえるように情報発信やPRに力を入れてもらいたいと思います。

樋口綾香さん 深山／昭和61年生まれ 会社員

今は経済が大変厳しいときですが、お客様に仕事をさせていただき、切れ目なく続けて来ることができました。今年も、個人としても会社としても、今までの足跡を振り返り、じっくり考えてから、その先へ進めるようにしたいものです。そして、より仕事、お客様を大事にしていきたいと思っています。

町にはまだまだ個々人の「力」があります。色々な制度が整備され恵まれた環境ではありますが、たとえ一線を退いていたとしても、その制度に全て甘えることなく、一生涯現役で立ち回ってほしいです。

町には、その力を持ち寄れる、発揮できるような、工夫・仕組みを考えていただければと思っています。

西塚伊三さん 東高玉／昭和13年生まれ 会社役員



去年の夏、2泊3日の「わんぱく夢冒険」に参加して、他の小学校の人と一緒にディズニーランドなどに行ってきました。親がいない生活は心配だったけど、友達と協力しながら過ごすことができ、友達との仲を深めるとても良い経験になりました。今年も最高学年の6年生になるので、下級生などみんなにやさしく接して、学校を引っ張っていけるようにがんばりたいです。

私は学校から見える景色が大好きで、特に春の桜が満開になったときが一番きれいで好きです。このきれいな自然や景色をこれからも大切にしてもらいたいと思います。

海老名毬絵さん 滝野／鷹山小学校5年（運営委員）

年男・年女さんに聞きました

昨年、このところの不況で農家にとりましてはかなり厳しい状態でした。野菜や果物、まして花卉類に当たっては最悪でした。以前だったら初出荷にはご祝儀値段の高値が望めたのに、残念です。農家に嫁いで35年、今では家庭野菜作りを楽しみに家族が健康で暮らせる事が何よりです。91歳になる夫の父が元気でいてくれるおかげで、農作業に励むことができます。感謝ですね。

最近、秘伝大豆の豆腐作りにはまっています。味の方は、「おからはおいしいね」と未だ合格に到っていません。

近くに上の台公園がありますが、大変良いところなので、桜回廊のみならず皆さんに足を運んでいただきたいと思います。



丸川富枝さん 横田尻／昭和25年生まれ 農業



寿司屋2代目の私は、県外などで約7年の修行を経て白鷹町に戻り、今年で10年目になります。昨年は、山形県寿司組合青年部に誘っていただいて、県内全域の同業種のかたと知り合うことができました。その土地特有の食材を使った料理を教えてもらったり、仕事を超えたさまざまな情報交換もでき、大変良い刺激を受けた1年でした。

今年は、新しい食材を使った料理にもチャレンジして、これまで以上にお客様に喜んでいただける料理を提供したいです。

私の地域では、若い人が少なくなっていて、消防団活動や地域行事の運営が大変になっています。若い人が残れる、活気のある町になってほしいです。

飛鳥井芳憲さん 菖蒲／昭和49年生まれ 自営業

白鷹町寅年(昭和37年以降)の

主な出来事

(広報しらたかより)

昭和37年

- 蚕桑中・東根中に特別教室完成
- 蚕桑中に工作室と理科室、東根中に工作室が設置され、全中学校に技術課程を学ぶ特別教室が整備されました。

八幡遊園地完成

- 鮎貝旧八幡神社跡地に町・地元の負担などにより、遊園地が整備されました。

昭和49年

● あゆかい保育園完成

- 高岡・深山保育所の人数減少などから鮎貝地区全域を対象とした保育園が完成しました。

● 東中学校体育館完成

- 前年の校舎完成と合わせて開校記念行事も開催されました。

● 中央公民館が完成

- 中央公民館が完成しました。(工事費約3億4000万円)

昭和61年

● ジョイントマラソン開催

- 町内を42人づつなぐ大会(42・195キ)が14チーム参加のもと開催されました。

● パレス松風オープン

- 大平山に町民保養センターがオープンしました。

平成10年

● 鷹山小学校開校

- 滝野・萩野小学校が統合し新しい鷹山小学校が開校しました。



現在酪農を営んでおり、成牛・育成牛合わせて16頭を飼育しています。世界的な不況のため、いいものを作っても安いものに流れる世の中になっていますが、白鷹は「搾乳量県内一位」という誇りをもって仕事に励んでいます。政権が変わり、農業政策についても不透明な状況ですが、これからも堅実に頑張っていきたいと思います。そのため、まずは健康を第一にしっかり家族を養っていききたいです。また、最近はなかなか行けませんが、久しぶりに夫婦でツーリングに行きたいですね。

町にはいい人材がたくさんいると思うので、そういった若者が定着できるような町になってほしいです。

高橋弘寿さん 横田尻／昭和37年生まれ 酪農

毎日の楽しみは、ご近所のお友達や親戚のかたとのお茶飲み。これが健康の秘訣かな。毎日だれかと会って楽しく過ごしています。

「お互い様」という言葉がありますが、何かあるとすぐかけつけてくれる、自分もかけつける、こういうご近所付き合いは、非常に気持ちもいいし、ずっと大事にしなければならないものだと思います。毎日気持ちよく過ごすこと、相手を思いやる気持ちを大事にすること、和やかにすることを大事にしています。

新年の抱負は、何より家族が仲良くみんな元気に過ごすこと。一番は家族の愛です。みんな仲良く元気に穏やかに、そして自分の健康にも留意して過ごしていきたいです。

紺野康子さん 畔藤／大正15年生まれ 家業は酪農



去年から長男がキッズスポーツのスポ少に入団し、サッカーをしたりソフトバレーをしたりして楽しんでいます。その影響で主人のバスケのクラブチームの練習に行っても、私が相手になりサッカーのまねごとをしています。私はただ声を張り上げるばかりで、体がついていきません。

今年、子どもとのスキンシップを図りながら体力強化に努め、吠えるだけでなく寅のように(?) 格好のいい母になりたいと思います。

白鷹町は、他の市町と比べて子育てに対する支援が行き届いていると思いますが、より子育てしやすい環境を整えていただければと思います。

金田純子さん 横田尻／昭和49年生まれ 会社員

僕の小学校では、学年ごとに家での自習学習の時間を設定(学年×10分)して取り組んでいます。去年は、設定された時間に足りない時があったので、6年生になる今年は、毎日きちんと学習して、設定された時間をクリアできるようにがんばります。

僕は家の近くの川や最上川などで、緑色だったり透明できれいな石を集めることが好きですが、川が少しずつ汚くなっているように感じます。ゴミの分別など、だれでもできる身近なことから取り組んで、環境が良くて住みやすい町になってほしいです。

塩川秀幸くん 高玉／蚕桑小学校5年(放送委員)



今年には還暦を迎えます。竹に例えると各節目が厄年で、今年には人生最後の厄年になり、最後の硬い節の部分になります。その後は、まっすぐに伸びる竹のように古希から百寿まで迎えたいものです。

そのためには健康であることが第一で、一番の財産だと感じます。今年も毎日一万歩を目標に歩き、休日は山菜採りを楽しみたいと考えています。仕事面では、山形県3人目の新車累計3,000台の販売を目指し、トヨタ自動車殿堂入りに近づけたいものです。

私は、自然豊かな白鷹町が大好きです。この歴史ある町を自然豊かなまま残していきたいと思っています。



千田健司さん 荒砥乙/昭和25年生まれ 会社員



普段は、看板やポスターなどの企画・デザイン・製作までの仕事をしていますが、仕事以外では長井市の小桜館を拠点としたNPO法人で、まちあるきなどの活動を行っています。私は実家も、嫁ぎ先も最上川の近くののですが、四季折々の顔を見せてくれる最上川が大好きです。フットパスなど、最上川を取り巻く環境は整備されていますが、地元の人にもっとその良さを知ってもらいたいと思っています。NPOなどの活動を通して、最上川やフラワー長井線沿線をつなぎ、市町を超えた活動で人と人とのつながりを大切にしていきたいです。そして多くの人に最上川や白鷹の良さを知っていただきたいと思っています。町などの行政には、民間と一緒に協力していただける体制を作ってもらいたいと思っています。

高橋郁子さん 荒砥甲/昭和37年生まれ 会社員



消防士1年目として、火災や事故などの現場や事務処理などの業務を行っています。消防士は体力に加え緊急時の迅速な対応や判断力が求められます。現在は、職場の先輩からさまざまなことを教わりながら、家で筋力トレーニングをしたり、救命・救急の資料などを読んで日々勉強しています。社会人2年目となる今年、体力・知識を身に付け、少しでも早く一人前の消防士になり、地域の安全安心に努めたいと思っています。

休日は、カジカ突きなどの釣りに出かけてリフレッシュしていますが、町のきれいな自然はこれからも残してほしいと思います。

飯澤 明さん 荒砥乙/昭和61年生まれ 消防士

すべての年男・年女の皆さんにとって今年1年が良い年でありませうお祈りいたします。

このたび、ご協力いただいた皆さん、お忙しいところ、貴重な時間を割いていただき本当にありがとうございました。

寅
2010





明るい未来の「しらたか」のために こども環境会議開催

12月19日、パワーセンターで「子ども環境会議」が行われ、町内の各小学校、中学校、荒砥高校の代表14人の児童生徒と、学校関係者や美しい郷づくり推進会議のかたなど合計で約70人が参加しました。

なぜ開催されたの？

この会議は、青少年育成町民会議（文屋正道会長）と教育委員会の主催で開催されました。昨年は「こども議会」として開催されましたが、より活発な意見交換や交流ができるようにと、昨年のこども議会で提案されて実現しました。

どんな内容？

会議のテーマは「環境」。はじめに、町の環境教育指定校の東根小学校と西中学校から取り組みの事例発表が行われました。

その後、子どもたち3グループと、美しい郷づくり推進

会議のかたを中心にした大人1グループの4グループに分かれ、常日ごろ考えている環境に対する思いや改善策などについて、子どもも大人も一緒に意図交換を行いました。

グループごとに、カードなどを使いながら意見をまとめ、美しい未来の白鷹のために発表を行いました。



最後に、アドバイザーの東北芸術工科大学准教授の三浦先生と佐藤町長から講評をいただきました。充実した会議となりました。

各グループの発表

(敬称略)

チーム

テーマ

「MIDIKA (みぢか)」

「電気をこまめに消す」

メンバー

金田日菜子 (蚕桑小)
原田 航 (鮎貝小)
新田 ゆい (荒砥小)
竹田 快 (鷹山小)
小形 駿一 (東根小)

私たちは、ゴミの分別・節水・電気をこまめに消す・1人1鉢を植えることを頑張ります。チーム名にもしたように、「電気をこまめに消す」など「身近」なことから取り組んで、きれいな環境を守っていきたいと思います。



チーム

「KIKUち (きくち)」

テーマ

「省エネにチャレンジします」

メンバー

梅津 響平 (西 中)
 高橋 美緒 (東 中)
 菊地 康紘 (荒砥高)
 菊地 愛美 (荒砥高)
 菅原 沙織 (荒砥高)

私たちは、省エネにチャレンジします。そのために、ゴミ削減・節水・電気をこまめに消す・エコバックの推進、そして天気の良い日は自転車を使うようにしてガソリンの消費を少なくし、CO2排出量削減などに取り組んでいきます。



チーム

「生徒会長 3 / 4」

テーマ

「資源を大切にします」

メンバー

小林 静花 (西 中)
 小出 央人 (東 中)
 五十嵐兼一 (荒砥高)
 布施 恵 (荒砥高)

私たちは、資源のリサイクルやマイコップ・マイはし、エコバックを使うことによって資源を大切にしていきます。また、なるべく公共の乗り物で移動するようにし、燃料の削減にも取り組んでいきたいと思ひます。



チーム

「美しい郷づくり」

テーマ

「美しい地球を守るために」

メンバー

伊野 幸男 (十王)
 小形 清子 (浅立)
 高山 耀子 (十王)
 高野 節子 (荒砥)
 松木千鶴子 (鮎貝)
 梅津 一久 (十王)

環境を守ることは、みなさんの意識が大切です。環境浄化は台所から取り組みましょう。また、余計な電気などを使わないように、冬は遅起きしたり、お年寄りの知恵を借りるなど、昔ながらの生活に戻ってみることも大切なことではないかと思ひます。



講 評

佐藤町長

今日お集まりいただいた皆さん大変お疲れさまでした。環境は意識の持ち方が大切だと思ひます。先日上郷ダムを視察しましたが、ダムには上流の3市4町のゴミが集まり、ゴミ処理に年間一千万円の経費が使われているそうです。上流に住む人たちがもつとゴミに対して意識していかなければなりません。昨年開催したまちづくり座

三浦准教授

白鷹町は県内でも環境に対して熱心でレベルの高いことを実践していると思ひます。みんな今日初めて会ったメンバーがほとんどのようでしたが、短い時間で良くまとめられたと思ひます。また、今回の様な会議は大変貴重な体験になったと思ひます。

談会で、町民のかたから「お金をかけないで、美しい町づくりをしてほしい」という提案をいただきました。その内容は、1人1鉢運動で各家庭に花を飾るといふもので、大変すばらしいことだと思ひました。美しい町とは見た目はもちろん、住む人の心も表わすものだと思います。ぜひそのようなまちづくりをしていきたいと思ひます。今日はありがとうございました。

なぜ、町や国レベルで環境改善がなかなか進まないのか、それは、話し合う場(機会)がないからです。環境対策は、個人ではなくみんなで取り組んでいくことが大切なのです。今、コペンハーゲンでは国同士が環境について話し合っています。今回みなさんが行った会議もそれと全く同じです。

今後も環境について話す場を持ち続けてください。そして、これからもみなさんで住みよい環境を守り作っていきましょう。



中央公民館（公民館棟・大ホール棟）施設にかかかる意見書について

（教育委員会から町長に提出）

昨年5月28日の大ホールのアスベスト落下により、緊急措置などの対応をしてきた中央公民館施設については、公民館棟及び大ホール棟の老朽化、耐震補強などの課題もあり、教育委員会として今後の中央公民館施設のあり方を検討するよう町長から指示がありました。

報告を受け、12月11日に教育委員会を開催し、細部にわたり検討をいたしました。教育委員会としては、中央公民館

（公民館棟・大ホール棟）の施設整備の方向性を次のようにまとめ「意見書」を町長に提出いたしました。

施設整備の方向性

「公民館棟はリニューアル及び機能が充実、大ホール棟は取り壊しをするのが適当ではないかと考えます。」

中間報告に対する町民の皆さんの意見

（パブリックコメント）

【反対】

- ・大ホールは必要。ただし、現状で「億」という費用が必要になるのは不安。お金をかけずに直して使うのがベスト。
- ・費用対効果という視点で考えると難しいが、大ホールがなくなるのは非常に不便である。
- ・600人程度が収容できるホールは絶対に必要。改修して利用すべき。
- ・あの場所に、あの規模のホールは必要である。

【どちらでもない】

- ・検討期間が短い。
- ・大ホールは町民にとって重要なものなので、慎重に検討してほしい。

【賛成】

- ・維持管理費も大変なので、駐車場にするなどした方が良い。
- ・今後新たな施設は建設すべきではない。メリハリのあがる予算化が必要である。

人口減少など、町を取り巻く環境が一層厳しくなることが予想される中で、今後の施設整備の方向性を定めることは非常に難しい判断です。恐らく右記の方向性に対して町民全員が賛成というわけにはいかないものと思います。

方向性の検討に当たっては、パブリックコメントやまちづくり座談会など、町民の皆さんのご意見をお聞きしました。実際に寄せいただいた意見の大半は、大ホール棟の取

方向性については、11月13日まで町民の皆さんからご意見をお伺いし、さらには「各地区まちづくり座談会」でのご意見なども踏まえ、庁内検討委員会において検討を重ねてまいりました。

このたび検討委員会からの

方向性判断の理由

理由①
「生涯学習を推進する拠点施設として必要であること」

公民館棟は、図書館も設置されている町の生涯学習の拠点施設です。また、今後のまちづくりにおいても重要な施設です。

施設には、学習機会や集会の場の提供だけでなく、指導者養成や学習情報の収集・整理・提供や学習相談、生涯学習関連施設などの連携推進の拠点などの機能が求められ、今後ますますその充実に求められていくものと思えます。

したがって公民館棟は、図書館をはじめ、さまざまな集会や研修、学習機能の充実など、生涯学習がより推進されるまで以上に町民のかたがたから愛される施設となるリニューアルを望むものです。

理由②
「機能分担で効率的な行政運営をより一層進めること」

大規模集会などでの利用を主とする大ホール棟は、公民館棟が持つ機能を「補完する

施設」であり、その機能は他の施設でも代替可能と考えます。(※代替施設のシミュレーションは下表①・②のとおり)ただし、今後発生してくるものが予想されるさまざまな課題については、町も町民の皆さんも協力して解決していく必要があると思います。

また、これまで大ホールは芸術文化活動や生涯スポーツなど、多目的な用途に使用されてきたため、幾分不便な点は考えられますが、施設の特徴に合わせた事業展開によって、事業費や運営費、人材の有効活用が図られ、より効率的な行政運営につながると考えられます。

具体的には、芸術文化活動は「あゆーむ」を中心に、生涯スポーツは各学校の体育館の有効活用、また、現在準備が進められている地域型総合スポーツクラブの活動拠点として検討している就業センターの施設整備なども含めながら、町民の健康増進、スポーツの振興を図る環境づくりを望むものです。

理由③
「限られた資源の有効活用を図ること」

一つには財源の課題です。施設整備には数億円という資金が必要となります。仮に、事業費総額が3億円と想定すれば、町民一人当たりでは約2万円という計算になります。

そのような中、町全体を見ればまちづくりに必要な事業は他にもたくさんあり、より優先的に行わなければならない事業としての選択が重要となります。したがって、より優先度の高い公民館棟の整備が望ましいと考えられるものです。

また、できるだけ有利な制度などを活用するためにも、課題を先延ばしにしない整備も必要です。

もう一つは既存施設の有効活用です。これまで整備をしてきた他の施設を、有効活用することが必須であると考えます。すでにその時代を迎えているともいえます。より良いまちづくりを目指すためにも、町も町民の皆さんも知恵を出し合い、限られた資源を有効活用することが今求められています。

■ 利用人数100人を超える事業の代替施設 (案) ①

事業名	代替施設	考えられる課題など	解決策
J A 輪投げ大会	山峡体育館	駐車場、暖房	暖房の設置
老人クラブ輪投げ大会	山峡体育館	駐車場、暖房	暖房の設置
老人クラブ芸能大会	パワーセンター	問題なし	
こぶし川柳大会	パワーセンター	問題なし	
荒高吹奏楽部合同演奏会	パワーセンターあゆーむ	問題なし	
おかえりなさいコンサート	パワーセンター	舞台の大きさ	出し物を検討する
役場行事	パワーセンター		行事内容による
区長町内長会	パワーセンター		開催方法の検討
健康診断	健康福祉センター	問題なし	
申告相談	パワーセンター	問題なし	
戦没者追悼式	荒砥地区公民館 パワーセンター	階段・段差	開催方法の検討
町芸術祭	パワーセンターあゆーむ	舞台の大きさ 楽屋の大きさ	開催方法の検討
町民卓球大会	学校体育館など	日程調整など	十分可能
白鷹町剣友会納会	就業センター 山峡体育館	問題なし	

■ 利用回数の多い団体の代替施設 (案) ②

団体名	代替施設	考えられる課題など	解決策
白鷹卓球クラブ	学校体育館など	日程調整など	十分可能
ラージボール愛好会	山峡体育館	日程調整など	十分可能
白鷹日本舞踊こども教室 ・花柳会	パワーセンター あゆーむ	使用料	利用者負担
よさこい白鷹櫻鷹会	パワーセンター あゆーむ 学校体育館など	使用料	利用者負担
ママさんコーラス	あゆーむ	使用料	利用者負担
少年少女合唱団	あゆーむ	使用料	出し物を検討する
荒砥剣道スポ少	学校体育館など	日程調整など	十分可能
エアロビクスサークル	学校体育館など	日程調整など	十分可能

■ 各棟の整備概算費用 (推計)

	公民館棟	大ホール棟
取り壊し	1億円	3500万円
リニューアル	3～3.5億円	1.7～2億円
建て替え	11億円	3.5億円

■ 問い合わせ 教育委員会生涯学習係 (☎85-6147)

※なお、ご意見などについては広報直通便をご利用いただきお寄せください。

税

の申告

申告期限は
3月15日

まもなく、町県民税の申告と所得税の確定申告の時期です。申告相談の受け付けは、町内の公民館などで行います（日程は次のページのとおり）。申告期限は「町県民税」「所得税」いずれも3月15日です。町県民税の申告書は、原則として1月1日現在で住所のある市区町村に提出してください。

― 荒砥・十王地区の申告会場が変更になります ―

町県民税

申告が必要なかた

次のようなかたは、町県民税の申告が必要です。

- ① 昨年中（平成21年1月1日～平成21年12月31日）に所得があったかた（公的年金などの受給者を含む）。ただし、給与所得者は次に該当するかた。
- イ 勤務先から給与支払報告書が提出されていないかた。
- ロ 給与所得のほかに、事業所得、不動産所得、配当所得、雑所得などの所得があったかた。
- ハ 給与所得だけのかたで平成21年中に会社を退職した

申告相談のとき に必要なもの

町県民税の申告と所得税の確定申告には次のものが必要です。忘れずに会場にお持ちください。

- ① 印鑑
- ② 町から配布された町県民税の申告書と税務署から配布された確定申告書
- ③ 昨年中の所得がわかるもの

◇ 給与所得者：源泉徴収票、給与支払証明書

◇ 公的年金などの受給者：公的年金等源泉徴収票

◇ 営業等所得者：収入や経費のわかる帳簿など

- ④ 生命保険料の掛金支払証明書
 - ⑤ 地震保険料の掛金支払証明書
 - ⑥ 国民年金保険料等の支払を証する書類
 - ⑦ 身障者手帳または療育手帳
 - ⑧ 預金口座番号のわかるもの
 - ⑨ 平成21年中に新増築、購入などにより家屋を取得し、住宅借入金（取得）等特別控除の適用を受けようとするかたは、前記のほかに添付書類が必要ですので、お問い合わせください。
- *なお、住宅借入金（取得）等特別控除には適用要件がある

長井税務署でも還付申告できます

＝ 還付申告は1月からできます ＝

所得税の確定申告は、平成21年中の所得と、それに対する所得税の納めすぎや不足分を精算するための申告です。源泉徴収や予定納税で納めすぎになっているかたや、給与所得者で雑損控除や医療費控除を受けられるかた、年の途中で退職し、その後就職しないため年末調整を受けなかったかたなどは、確定申告をしないと納めすぎになっている税金が還付されません。税金の還付申告を行うかたは、1月4日以降、所轄税務署（白鷹町在住のかたは長井税務署／Tel.84-1810）でも受け付けますので、お早めに申告してください。なお、申告の際は源泉徴収票、印鑑（朱肉を使用するもの）、預金通帳（ゆうちょ銀行も可）を持参してください。

申告書の書き方

- ② 収入の有無にかかわらず、国民健康保険に加入しているかた。
 - ③ 医療費控除や雑損控除を受けようとするかた。
- 町県民税の申告書は2月1日に配布します。書き方については「平成22年度分町県民税の申告の手びき」をご覧ください。
- なお、町から申告書が送付されないかたでも、譲渡所得や生命保険満期などの一時所得があるかたは、申告日に相談してください。

お願い

- 農業所得の申告は、農業における収入、経費のすべての資料を基に計算された収支計算書の提出が必ずです。
- 農作業の委託費や小作料の控除を受けようとするかたは、支払額、支払先を明確に記入して申告前に提出し
- 農業者年金経営移譲に関係されるかたは、農業所得の申告名義人が正しいか確認のうえ申告してください。
- 新規に購入された事業用機械、農機具などがありまして、その領収書や販売証明書を、ご持参ください。共有で購入されたかたは、申告前に税務出納課に領収書や販売証明書を持参してください。

平成22年所得税と町民税の 申告相談受付日程

月日	曜日	会場	相談受付地域	
			午前	午後
2/15	月	鷹山地区公民館	中田、原、上原	堀之内、北原、針生
16	火	"	山道、西	新屋敷1・2
17	水	"	下折居、上折居、 西原、細野	東小手沢、南
18	木	東根地区公民館	南部1・2	南部3・4・5
19	金	"	中部1・2	中部4・5・6
20	土			
21	日			
22	月	東根地区公民館	北部1・2	北部3・4
23	火	"	中部3、東部1・2	東部3・4
24	水	蚕桑地区公民館	蚕桑3・4	蚕桑1・2・5
25	木	"	蚕桑6・7	蚕桑8・9・10
26	金	"	蚕桑11・13	蚕桑12・16・17・18
27	土			
28	日			
3/1	月	蚕桑地区公民館	蚕桑14・15	蚕桑19・20
2	火	ハーモニープラザ	鮎貝3・4・12	鮎貝10・14
3	水	"	鮎貝1・6	鮎貝5、高岡1、深山1
4	木	"	鮎貝7・8・9	鮎貝2、高岡2、深山2
5	金	"	鮎貝13	鮎貝11、黒鴨
6	土			
7	日			
8	月	勤労者総合福祉センター (パワーセンター白鷹)	十王1・2・3	十王4・5・6・7
9	火	"	貝生3、菖蒲1・2	十王8・9・10
10	水	"	貝生2、下山、佐野原	仲町2、貝生1、大瀬
11	木	"	八幡1・2、新町	出来町2、横町2、 仲町4
12	金	"	上町、出来町1、 横町1	仲町1・3
13	土			
14	日			
15	月	勤労者総合福祉センター (パワーセンター白鷹)	指定された会場においてになれなかったかた	

<受付時間> 朝8時45分～午後3時 (午前の部の受付は午前11時まで)

各地区公民館・勤労者総合福祉センターは朝8時30分開館となります。

- 中央公民館大ホールが使用できないため、荒砥・十王地区のかたの申告会場が変更になります。ご注意ください。

中央公民館(昨年まで) → 勤労者総合福祉センター(今年)
(パワーセンター白鷹)

- 受付は昼も行い、申告は受付簿に記入された順に行います。
- 申告相談は準備の都合上、**指定された日・会場で受けられるようお願いいたします。**
- 指定された会場に都合のつかないかたは、前もって税務出納課町民税係にご連絡ください。
- 申告期間中は、税務出納課町民税係の役場1階事務室での相談は受け付けませんのでご協力ください。
- 勤労者総合福祉センターでの3月8日から12日までの相談は、受付順にかかわらず、十王・荒砥地区のかたを優先します。
- 相談会場が同じ場合は、いつでも相談を受け付けます。
(例) 2月25日が指定の日のかたで都合がつかないかたは、2月24日から3月1日までの間(会場が蚕桑地区公民館)であれば、いつでも相談を受け付けます。

●問い合わせ 税務出納課町民税係(☎85-6132)

●中山間地域等直接支払制度
に関する収入金などについては、事前に把握させていただきます。

●事業所得や不動産所得のあるかたは、租税公課を求めるときは、固定資産税の課税明細書をご持参ください。(今年から紙台帳を申告会場へ持参できませんので、事前に確認し必ず持参してください。)

●配偶者控除や配偶者特別控除を受けようとするかたは、配偶者の平成21年中の所得を明らかにできるもの(給与明細など)をお持ちください。

●平成22年度に所得額証明・課税証明・非課税証明などが必要なかたは、収入の有無にかかわらず申告書を提出してください。

町民税の自書申告をされるかたへ

●医療費控除を受けられるかたで領収書の合計が済んでいない場合、会場内に設ける「計算コーナー」で、申告相談の前に計算してください。

●自書申告をされる場合は、必ず収入や経費の分かる書類、計算書を添付してください。

- 給与、年金などのあるかたは、源泉徴収票を添えてください。
- 田畑の小作料、家賃収入のあるかたは、その明細書を添付してください。
- 各種控除の証明書は必ず添付してください。
- 所得税確定申告の必要がないかどうか確認してください。
- 印鑑を忘れずに押してください。

給与支払報告書の提出はお早めに

平成21年中に支払給与のある場合は、給与支払報告書の提出が法律で定められていますので、税務出納課町民税係へ提出してください。また、給与支払報告書の提出期限(2月1日)が近づくと窓口が込み合いますので、早めに提出してください。

探しやすい！

変わります

ただ今準備中

主な特徴

ホームページアドレスが変更になります。

<http://www.town.shirataka.yamagata.jp/>



<http://www.town.shirataka.lg.jp>

ホームページを利用される皆さんがより安心してサービスを受けられるよう地方自治体専用のアドレスにします。

広報しらたかを掲載します。

過去の広報しらたかを随時掲載する予定で準備を進めています。

町史を掲載します。

町の歴史をまとめた町史を随時掲載する予定で準備を進めています。

検索機能が追加されます。

ひとつの単語からの検索だけでなく複数の単語による検索条件が設定でき、選択された条件の組み合わせに一致するページを表示することができます。

文字の拡大を可能にします。

ホームページの文字を拡大して閲覧することができます。

携帯電話の画面作成

パソコンだけでなく携帯電話に対応する画面の準備を進めています。

高度情報化社会が進展している中で、各市町村などで情報の発信元としてホームページを活用するようになっていきます。これまでのホームページは、情報が盛りだくさんであるがどこにあるのか探すことができなかったり、文字の大きさを容易に直すことができませんでした。そこで、情報を体系的に管理し、見やすく、ほしい情報を速やかに探せるように再構築し、2月1日(月)から運用できるように現在準備を進めています。より良いまちづくりのため、ホームページをぜひ利用してください。



今までのホームページ

■問い合わせ
総務課情報係 ☎ 85-6121

2 / 1 (月)

町の情報を 見やすく！ ホームページが



検索

文字の大きさ **A**大きく **A**小さく 携帯ページ

くらしから探す	人生のできごとから探す	隠れ蕎麦屋の里 白鷹町観光協会
町組織から探す	妊娠・出産	白鷹町文化交流センター AYU:M
施設案内	子育て	どりいむ
施設案内	入園・入学	ふるさと 応援制度
様式一覧	就職・退職	白鷹ニュータウン 四季の郷
交通案内	結婚・退職	宝前町 ニュータウン 分譲
町の情報	新居・転居	@SGIC 白鷹町総合情報センター
よくある質問	高齢・介護	
広報しらたか	おくやみ	
例規集	最新的话题	
白鷹町議会	2009/12/25(金) 週間行事予定(12/28~1/11)を掲載します。	
リンク集	2009/12/24(木) 各地区公民館 館報「12月号」を掲載しました。	
町史	2009/12/24(木) 広報しらたか「お知らせ版」12月22日号を掲載します。	
ハザードマップ	2009/12/16(水) 白鷹町営スキー場は12月20日より営業いたします。	
	お知らせ	
	白鷹町新型インフルエンザ対策本部からのお知らせ 中央公民館大ホールの使用を停止します	

新しいホームページ
(イメージ)



ハザードマップについて

白鷹町では、平成20年度に「洪水避難地図(ハザードマップ)」、「土砂災害避難地図(ハザードマップ)」を作成しました。

洪水避難地図(ハザードマップ)は、最上川が100年に1回程度の大雨によって増水し、堤防の決壊や水があふれた場合の浸水する範囲及び各地区の避難場所を示した地図です。また、土砂災害避難地図(ハザードマップ)は、集中豪雨や台風などにより、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域 並びにこれらの区域における土砂災害の発生原因となる自然現象(土石流、急傾斜地の崩壊、地滑り)や、各地区の避難場所を示した地図です。いざという時に安全に避難できるように、また、日頃からの準備と心構えなどを知らせていただくため、避難地図をご参照ください。

PDFファイルをご覧になるには
このページに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

役場総務課 防災管財係
TEL:0238-85-6124(直通)

15 広報しらたか 2010.1.12



白鷹町観光協会 YAMAGATA SHIRATAKA

隠れそば屋マップ

白鷹の隠れそば屋とは

味代乃そば
千利庵
さんご
藤屋

お知らせ

2009 白鷹町観光協会

白鷹町の バランス シート

バランスシートは、一般家庭を例に考えると、毎月の収支ではわからない住宅ローンの残額（負債）や家、車、預貯金など（資産）の状況を示すものです。町のバランスシートは、左側（借方）に将来に引き継がれる町民の財産（道路、公園、学校など）、右側（貸方）にその財産を取得するために費やしたお金を、将来の町民の負担（負債）と、これまでの世代が負担した分（正味資産）に分けて示しており、「資産＝負債＋正味資産」という形で、バランスの取れた表になっています。

バランスシート（平成20年度末版）〈要約版〉

（単位：百万円）

農道、道路、橋、公園、学校、公民館などの行政財産の資産評価額を目的別に示しています。

白鷹町アルカディア財団、西置賜ふるさと森林組合などの団体に対する出資金などを示しています。

ふるさと融資、高齢者住宅整備資金などの貸付金を示しています。

公共施設整備基金、スポーツ振興基金、土地開発基金、生涯学習推進基金などの用途が特定化されている基金（特定目的基金）を示しています。

退職手当組合が保有する資産の白鷹町分相当額を示しています。

財政調整基金、減債基金、歳計現金を示しています。

町税、貸付金などの未収金を示しています。

借方（資金の使途）	
〔資産の部〕	
将来に引き継がれる町民の財産	
1. 有形固定資産	
・ 農林水産業費	1,557
・ 土木費	6,370
・ 教育費	10,197
・ 他	3,257
有形固定資産合計	21,381
（うち土地 5,647）	
2. 投資等	
・ 投資及び出資金	2,318
・ 貸付金	161
・ 基金	618
・ 退職手当組合積立金	182
投資等合計	3,279
3. 流動資産	
・ 現金・預金	808
・ 未収金	100
流動資産合計	908
資産合計	25,568

貸方（資金の源泉）	
〔負債の部〕	
将来の町民の負担分	
1. 固定負債	
・ 地方債	7,592
・ 債務負担行為	0
・ 退職給与引当金	1,400
・ その他	0
固定負債合計	8,992
2. 流動負債	
・ 翌年度償還予定額	1,286
・ 翌年度繰上充用金	0
流動負債合計	1,286
負債合計	10,278

〔正味資産の部〕	
これまでの世代の負担分	
1. 国庫支出金	2,738
2. 都道府県支出金	2,032
3. 一般財源等	10,520
正味資産合計	15,290
負債・正味資産合計	25,568

町債の平成20年度末残高のうち平成21年度に償還が予定されている町債元金額を「流動負債」の「翌年度償還予定額」に計上し、それ以外の町債元金額を「固定負債」に計上しています。

年度末に在職する普通会計職員全員が自己都合により退職したと仮定した場合に必要な退職手当額を示しています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、各計数の積み上げと合計が一致しない場合があります。

（平成21年3月31日現在）

バランスシートを使った主な財務分析（※は過疎団体）

財務分析の項目	平成20年度他町との比較			
	白鷹町※	県内A町※	県内B町	県内C町
① 現世代負担比率(%)	71.5	59.3	73.1	77.8
② 将来世代負担比率(%)	48.1	56.5	43.4	46.2
③ 正味資産比率(%)	59.8	51.2	62.8	62.7
④ 有形固定資産更新資金手当率(%)	5.6	-	-	-
⑤ 町債返済可能年数(年)	3.77	-	-	-
⑥ 地方債依存度(%)	34.7	37.9	32.8	31.4

バランスシートを町民一人あたりに換算すると…

資産の額 158万8,000円 （156万3,000円）	負債の額 63万8,000円 （66万5,000円）
	正味資産の額 95万円 （89万8,000円）

（ ）内は昨年度の額です。

◆④、⑤は決算に対する一般財源の額や減価償却の累計額など、バランスシート以外のデータも必要なたため、他市町分は算出していません。

⑥ 地方債依存度
資産の形成にどれだけ町の借債を費やしたかを表す指標で、資産に對しどの程度町債残高があるかというものです。

⑤ 町債返済可能年数
毎年の収入のうち、町債の返済に充てることが可能な金額のすべてをもつて返済したと仮定した場合の返済所要年数で、年数が少ないほど財政状況が健全であるといえます。

④ 有形固定資産更新資金手当率
維持・修繕や更新時に必要な手持ち資金をどのくらい保有しているかを表します。

③ 正味資産比率
企業会計でいう自己資本比率にあたり、比率が高いほど財政状態が健全であるといえます。ただし、バランスシートの正味資産は「これまでの世代の社会資本形成の負担額」であり、この比率が高いことがそのまま投資余力があるということにはつながりません。

② ①の数値が低すぎることも問題です。

① ② 社会資本形成の世代間負担比率
社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、これまでの世代によってすでに負担した分の割合（①）と、将来の世代で負担する割合（②）であり、将来負担を考えると①の方が大きいことが望まれますが、世代間の負担公平というところから見れば、②の数値が低すぎることも問題です。

主な財務分析項目について

詳しい分析資料をご覧になりたい場合は、総務課財政係（☎85-6122）まで町のホームページでも公開しています。

白鷹町にサンタクロースがやってきた 「サンタ列車」おもてなしイベント

「うわあ！ 本物のサンタさんだ！」



12月19日、フラワー長井線でサンタ列車が運行されました。それに合わせて、荒砥駅では八幡女性部のボランティアのかたを中心にサンタ列車のおもてなしイベントが行われ、町内の保育園児や保護者など多くのかたが参加しました。園児たちが「サンタさーん」と呼ぶとどこからともなくサンタさんが登場。フィランドから来た本物のサンタさんを見た子どもたちは、サンタさんの大きさに驚いた様子でしたが、「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い歓迎しました。そのお返しにサンタさんからすてきなプレゼントが手渡され、集まった子どもたちと記念写真の撮影を行いました。



いました。本物のサンタさんを見るのができた子どもたちにとつては大変貴重な体験になったことと思います。荒砥駅の周りには、東中学校、荒砥高校、八幡女性部のボランティアの皆さんによってたくさんのカンダルが灯され、雪で真白になった荒砥駅全体をあたたかくやさしい光で包んでくれました。また、駅資料館のボランティアの皆さんが準備したクリスマスツリーは、紅花のドライフラワーを何本も合わせて手づくりしたもので、駅を利用する人たちの目を楽ませてくださいました。

異文化でのボランティア活動

青年海外協力隊員として出発

12月16日、青年海外協力隊員として活動・派遣される芳賀由佳さん（荒砥乙）が、役場を訪れました。

芳賀さんは、今年1月から理学療法士としてエジプトに派遣され、平成24年1月までの2年間活動する予定です。

「言語・環境面での不安はありますが、これまで理学療法士として学んだ知識や技術を少しでも役立て、異文化を肌で感じ視野を広げながら頑張りたいと思います。」と抱負を話してくれました。

これから2年間、日本には帰って来れないとのことですが



芳賀由佳さん（荒砥乙）
派遣先：エジプト（ダミエッタ市）
職種：理学療法士
派遣期間：平成22年1月～24年1月（2年間）

が、異国の地での活躍をお祈りいたします。また、現地での活動内容について連絡をいただき次第、皆さんにご報告させていただきます。

青年海外協力隊

（昭和40年発足）

- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する海外ボランティア派遣制度。
- ・募集分野は農業、教育、保健衛生など120職種以上
- ・これまで、累計約80カ国、3万人以上の隊員が派遣されています。
- ・白鷹町出身者では芳賀さんが4人目。

置賜地区コンクールで紙芝居2作品が特選表彰

12月12日、置賜地区自作視聴覚教材コンクールが行われ、白鷹町の2作品が特選表彰を受け、山形県中央審査会に推薦されました。おめでとうございませう。

●社会教育部門特選

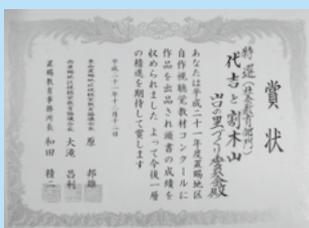
山口の里づくり委員会（山口）
作品名「代吉と割木山」

●学校教育部門特選

梅津美智代さん・桜さん（荒砥乙）

作品名「べにの里よりく神様からのおくりもの」

※梅津さんは昨年に引き続き2年連続受賞となりました。



山口の里づくり委員会



梅津さん親子

「いつもありがとう」わたしたちの駅 四季の郷駅感謝祭



12月19日、フラワー長井線「四季の郷駅」駅前広場で、四季の郷駅感謝祭が行われました。雪で時折強風が吹く悪天候にも関わらず、町内全域から多くのかたが参加し、とん汁や玉こんにゃくの振る舞い、お楽しみ抽選会などで楽しい時間を過ごしました。四季の郷駅に感謝するこのイベントは、地元鮎貝まちづくり推進委員会活性化部会が企画し、今年で2回目となり、当日は山形鉄道の野村社長も参加しました。

シーズン到来！ スキー場安全祈願祭



12月18日、白鷹町営スキー場の安全祈願祭が行われました。当日は、スキー場従業員やスキー連盟など関係者約30人が参加し、シーズンを通しての無事故を祈願しました。雪不足が心配されたスキー場ですが、前日からの雪により約30センチほどの積雪量になり、無事にオープン（12月20日）を迎えることができました。ファミリースキー場としてご家族皆さんでお楽しみください。

貴重な資源「荒砥鉄橋」に誇り 荒砥高校特別授業



12月15日、荒砥高校で山形鉄道（株）の高田裕之専務を招いて、1年生約60人を対象に「鉄」をテーマに特別授業が行われました。授業では、鉄の検査方法、さらに最上川に架かる荒砥鉄橋のルーツやその貴重さを具体的に分かりやすく説明していただき、1年生にとっては、今後の学習に生かせるものであるとともに、フラワー長井線に対する誇り・愛着を深める授業になったようです。

全町光ファイバー通信網の整備実現 「白鷹町ー光ブロードバンド実現の会」解散



12月25日、「白鷹町ー光ブロードバンド実現の会」の総会が開催されました。当初の目的であったN T T東日本より全町への光ファイバー回線サービスが提供されたことが確認され、会長である町長より会員の取り組みに感謝する旨の話がありました。団体の目的が達成されたことにより解散を決議しました。N T T東日本からの情報では、平成21年末時点での契約数は、1000件以上になるということです。

「大根干し」で最優秀賞

こぶしの家

12月11日、平成21年度山形県社会就労センター協議会主催「授産製品・商品品評会」が開催され、こぶしの家（高橋好夫所長）の「大根干し」が見事最優秀賞を受賞しました。こぶしの家では、町内2カ所の畑で大根などの野菜を栽培していて、栽培・加工・袋詰めまでの全工程を自分たちでおこなっています。夜露にあてないように大切に扱っている大根干しよりもきれいな白い製品に仕上がっているのが特徴で、こぶしの家で購入いただけません。

品評会には県内19の授産施設から出品がありました。

作業風景



第43回白鷹町剣道大会

12/6・東中学校体育館

◆団体の部

●小学男子

- 1位 愛真会荒砥剣道スポ少
- 2位 若鷹剣道スポ少
- 3位 愛真会荒砥剣道スポ少B

●小学女子

- 1位 若鷹剣道スポ少A
- 2位 愛真会荒砥剣道スポ少A
- 3位 愛真会荒砥剣道スポ少B

●保護者の部

- 1位 愛真会保護者会A
- 2位 若鷹保護者会A
- 3位 若鷹保護者会B

●中学男子

- 1位 白鷹西中A
- 2位 白鷹西中B
- 3位 白鷹東中B

●中学女子

- 1位 白鷹東中
- 2位 白鷹西中B
- 3位 白鷹東中A

◆個人戦

●小学男子1・2年の部

- 1位 赤間 英生(若鷹)

●小学男子3・4年の部

- 1位 板垣 翔斐(若鷹)
- 2位 山本 築(愛真会)

●小学男子5・6年の部

- 1位 梅村 翔(若鷹)
- 2位 土屋 建二(若鷹)
- 3位 伊淵 一希(愛真会)

●小学女子1・2年の部

- 1位 副田 未来(愛真会)
- 2位 山本 和(愛真会)

●小学女子3・4年の部

- 1位 相馬さおり(若鷹)
- 2位 梅津 若夏(愛真会)

●小学女子5・6年の部

- 1位 金田日菜子(若鷹)
- 2位 長谷部陽香(若鷹)
- 3位 副田明日香(愛真会)

●中学男子1年の部

- 1位 芳賀 悠大(東中)
- 2位 安部 颯人(西中)
- 3位 江口諒一朗(西中)

●中学男子2年の部

- 1位 板垣 稜也(東中)
- 2位 丸川賢太郎(西中)
- 3位 今野 魁人(西中)

●中学男子3年の部

- 1位 板垣 和貴(西中)
- 2位 金田 拓海(西中)

●小学男子3・4年の部

- 3位 安部 竜平(西中)

●小学男子5・6年の部

- 1位 赤間 光生(西中)
- 2位 赤間 千春(西中)
- 3位 村上 葵(西中)

●小学女子1・2年の部

- 1位 松木 雅子(東中)
- 2位 高橋 莉菜(西中)
- 3位 赤間 千春(西中)

●小学女子3・4年の部

- 1位 梅津 智華(東中)
- 2位 五十公野愛香(東中)
- 3位 相馬 祥子(西中)

●小学女子5・6年の部

- 1位 丸川 望(西中)
- 2位 竹田 勝成(中山・日本体育大)
- 3位 松木 光寿(荒砥・米沢商業高)

●中学男子1年の部

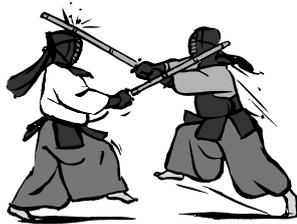
- 1位 片山明日香(蚕桑)
- 2位 高橋 弘範(蚕桑)
- 3位 副田 恵美(荒砥)

●中学男子2年の部

- 1位 片山明日香(蚕桑)
- 2位 高橋 弘範(蚕桑)
- 3位 副田 恵美(荒砥)

●中学男子3年の部

- 1位 片山明日香(蚕桑)
- 2位 高橋 弘範(蚕桑)
- 3位 副田 恵美(荒砥)



バスケット旋風到来の子感。。。小・中学生が県大会で準優勝！

白鷹ミニバスケットボール

スポーツ少年団

12月19日から23日まで、山形市総合スポーツセンターなど3会場で、第34回山形県ミニバスケットボール交歓大会が開催され、置賜地区代表で出場した白鷹ミニバスケットスポ少(男子)が準優勝に輝きました。県内各地区予選を勝ち上がった24チームが参加し、白鷹ミニバスケットは、決勝トーナメント1回戦を逆転で勝ち上がり、決勝では鶴岡地区代表と対戦。惜しくも破れてしまいましたが、準優勝という立派な成績を収めました。

3月に会津若松市で行われる東北大会の切符もつかみ、現在、山狭体育館と鷹山小学校などで毎週水・金・土曜日に練習しています。



白鷹東中バスケットボール部

11月14日、県中学校新人戦の統一大会が行われ、東中バスケット部(男子)が準優勝に輝きました。南ブロック大会で優勝して臨んだ統一大会では、決勝で、山形六中を相手に残り23秒までリードしてものの逆転を許してしまい、52対55で涙を飲みました。

スポ少で基本を身につけ、部活とクラブを両立した並々ならぬ練習量をこなし、指導者をはじめ、保護者・学校・地域のかたのバックアップにより今回の成績へとつながりました。

チームの目標は「全国制覇」のこと。若いチームなので、今後のさらなる活躍に期待したいと思います。



あゆーむ通信

vol.4

あけましておめでとうございませう。

本年も、あゆーむをよろしくお願い致します。

『鈴木ユキオ、白鷹と踊る！』 観客を魅了

昨年12月8日〜13日「鈴木ユキオ、白鷹と踊る！」が開催されましたので、公演やワークショップなどの模様をお伝えします。

◆公演

今回の公演では、ダンスができる空間を大きく取るため、普段は椅子を置いてある場所もステージとして使い、客席はその周囲を取り囲むように配置しました。また照明もこの公演用に普段とはまったく違う配置にしたので、見慣れた場所であるはずがまったく違う所に迷い込んだようでした。

鈴木ユキオさんのダンスは、前に行く力と後ろに行く力が拮抗してどちらに行くかわからない、といった印象の動きで



大変緊張感がある舞台でした。そうした動きは、共演した安次嶺菜緒さん・加藤若菜さんも体現する一方、安次嶺さ



中山ダイスケ先生(左)、鈴木ユキオさん(右)

んは力強い躍動的な動き、加藤さんは静かにたたくような動きが印象的でした。鈴木さんの振付という約束の中で、三者三様の身体のある方を見せられました。

ダンスの緊張感も客席にも伝わり、お客様は一時も目が離せないといった様子でした。

◆アフタートーク

ダンス公演後は、中山ダイスケ先生(東北芸術工科大学教授/アーティスト)をお招きして出演者と公演の感想などをお話ししました。その中で客層についても話題となりました。東京ではダンスを見慣れた人しか見に来ないものですが、今回は4歳の子供からお年寄りまで、そして町内外のかたと、大変幅広い層のかたがいらっしゃいました。中

山先生から、「ヨーロッパの大都市の劇場では、どんな公演でも地元の色々な人が来るが、日本では違う。今回のお客様さんを見ると白鷹は世界の風潮にある。今後先進的な取り組みを続けてほしい。」とのお言葉をいただきました。

◆一般公募ワークショップ

芸工大ダンスサークルの学生や、九里学園高校ダンス部よきこいサークルなど町内外から合計50人以上の参加をいただきました。

鈴木さんのワークショップは決まった型を覚える、というものではなく、イメージを使って動きを作る、というものが中心でした。肘を色々な方向に引っ張られるイメージで動いてみる、爪を相手に飛ばすイメージで腕を出す、というようなものです。イメージで動くため参加者がみな違う動作やポーズで、一人一人が違った身体を持っているのだなど



ワークショップの様子



鮎貝小学校でのアウトリーチ

感じました。参加者からは、体の奥深いところまで感じる事ができた、人の身体はものすごく表現の幅が広いとわかり驚いた、という声がかれました。

◆アウトリーチワークショップ

出前授業として、よつば保育園、鮎貝小学校、鷹山小学校でワークショップを実施しました。他人と積極的に接する鬼ごっこのようなゲームや、大きな輪をみんなで持っているイメージで動く、といったことが行われました。児童たちは、初めて見る動きをする鈴木さんの一挙一動に興味津津で、一生懸命取り組んでいました。頑張り屋さんの児童がそうしたところを動きで見せたり、逆に普段とは違う側面を見せた児童もいたようで、さまざまなお見聞があったようでした。

木管五重奏クインテット・アッシュュコンサート 開催間近です

▼いつ 1月30日(土)

午後2時開演

▼入場料 一般1000円(当日1500円) / 高校生以下500円(当日1000円)

▼チケット あゆむまたは教育委員会(☎85-6146)ほか

クラリネットの濱崎由紀さんは、小学校の音楽の教科書に載っていたり、オーボエの最上峰行さんは、TVドラマ「のだめカンタービレ」の演技指導や、録音に携わったりなど…クインテット・アッシュュのメンバーは、多方面でご活躍です。

皆さんお若いながら実績も

あり、演奏が素晴らしいのももちろんですが、トークにも定評がありますので、「管楽器のコンサートはしきいが高い」と思っているかたでも、きっとお楽しみいただけます。

お知らせ

今回の公演では早川邦宏さん(ファゴット)に代わり佐藤由起さん(NHK交響楽団ファゴット奏者)が加わることになりましたので、ご了承下さい。

●佐藤由起さんプロフィール

桐朋学園大学卒業。シドニー大学大学院修士課程修了。

これまでに、浅野高瑛らに師事。小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン青少年のためのオペラなど参加。カラヤンアカデミーの推薦を受け、ベルリン・フィル主催のスイス・ツェルマット・フェスティバル2007に招待参加。大学院在学中にシドニー交響楽団契約団員として活動。またヨーロッパ室内管弦楽団のパリ、ケルン公演ツアーに客演するなど、国内外での活動の幅は広い。第21回に本打楽器コンクール第2位入賞。

梅津五郎通常展・テーマ展「冬に於いて」開催中

▼いつ 2月28日(日)まで

▼観覧料 大人200円

高校生以下無料

▼会場 ギャラリー

「冬に於いて」は「冬」をテーマとした展示で、梅津五郎作品に加え、安部昭二さん、橋本満弘さんの作品を展示しております。安部さんは高岡在任で示現会会員・県美展無鑑査、橋本さんは荒砥在任で一水会会友・県美展委嘱、という町内を代表する画家です。同じテーマでの展示なので、3人の画家の個性がはっきりと表れています。

あゆむホールで ピアノを弾いてみませんか?

小さいながらも全国に誇れる建築音響を持つあゆむホールで、あなたもピアノを弾いてみませんか?

▼いつ 2月7日(日)、20日(土)、21日(日)

午前9時から午後5時

▼対象 小学生以上(小・中学生は引率者一人が必要となります)*ピアノの演奏者を含め、一団体5人まで入場可能。

ピアノはヤマハS6Bです。

▼費用 町民のかた1時間800円、町外のかた1時間1,200円(1回につき連続2時間まで)

*録音を希望する場合は別途1,000円をいただきます。使用するメディア(CD-R、MD)は持ち込みになります。録音のセッティングの時間も使用時間に含まれます。ただし、ご自分でビデオなどを持ち込んで録画することはかまいません。

▼申し込み ご利用の前日までに電話・窓口で

あゆむにお申ください。(先着順)

2回まで申込み可能としますが、連続して2回の利用はできません。

▼その他 本来の目的と異なる利用の仕方についてはご遠慮ください。(有料のピアノレッスン、合唱練習など)

2月までの日程

H21.12/5(土)~2/28(日)

梅津五郎通常展・テーマ展「冬に於いて」

1/21(木)・28(木)・2/18(木)・25(木)

油絵入門講座

1/28(木)~29(金)

クインテット・アッシュ

出前講座

1/30(土) クインテット・アッシュ

木管五重奏コンサート

2/7(日)・20(土)・21(日)

「あゆむホールでピアノを弾いてみませんか?」

2月までの休館日

1/12(火)・1/18(月)・1/25(月)

2/1(月)・2/8(月)・2/15(月)・2/22(月)

冬期間の開館時間について

恐れ入りますが、冬期間(1~3月)は夜間のご予約がない場合、ギャラリーを含む全館午後5時で閉館させていただきます。



白鷹町健康増進計画「元気ニコニコしらたか21」

心もいきいき働き盛り健康づくり～心もいきいきと暮らせるために～
「若さを保つ元気な暮らし」 このようなことを目指します。

○そのためには

「体力を維持増進することができる」

このようなことが大切です。

“心もいきいきとした豊かな暮らし”とは

例えば…

☆バリバリ仕事をしながら、休みにはスポーツを楽しむ

こんな暮らしのことです。

自分の暮らしを大切に、いきいきと暮らしてほしい！

白鷹町健康増進計画

元気ニコニコ
しらたか21

中間評価

「週5日以上飲酒習慣がある」
人が減少しました。
目標までもうひと頑張り！

町健康増進計画「元気ニコニコしらたか21」の達成状況を把握するために、町民の皆さんを対象に元気ニコニコ21アンケートを実施しました。

〔元気ニコニコ21アンケート〕

問 飲酒習慣はありますか。

答 ①ない ②週1～2日 ③週3～4日 ④週5日以上 ⑤記入なし

30～60歳代	H 15						平成22年 目標	H 20					
	30代	40代	50代	60代	合計	%		30代	40代	50代	60代	合計	%
①ない	35	40	44	67	186	51.0	週5日以上 の割合 20.0%	31	43	50	56	180	49.5
②週1～2日	14	12	5	9	40	10.9		11	14	12	7	44	12.1
③週3～4日	1	9	10	3	23	6.3		6	9	9	7	31	8.5
④週5日以上	21	28	25	33	107	29.3		12	17	27	34	90	24.7
⑤記入なし	0	0	4	5	9	2.5		1	0	2	16	19	5.2
合計	71	89	88	117	365	100.0		61	83	100	120	364	100.0

健康のひろば

主な酒類の純アルコール量

お酒の種類	ビール 中瓶 (500ml)	清酒 1合 (180ml)	ウイスキー ダブル (60ml)	焼酎 35度1合 (180ml)	ワイン 1杯 (120ml)
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

アルコール濃度と交通事故

以前の酒気帯び運転の基準（呼気中アルコール濃度0.25mg/ℓ）では事故率が2倍になっているため、今回の改正で0.15mg/ℓに改められました。

飲酒運転は絶対にやめましょう！

■節度のある適度な飲酒
「健康日本21」では純アルコール量を1日平均約20gとされています。

アルコールに関する問題は健康だけでなく、交通事故や暴力など社会的にも多大な問題があり、総合的な対策が必要です。

休肝日を週2日以上にするよう啓発しています。

「21世紀における国民健康づくり運動」では健康づくりを効果的に推進するために9つの分野にわたって平成22年度を目標とした達成の目安を示し、生活習慣改善の取り組みを進めています。アルコールは9つの分野の1つです。具体的な目標は

■アルコール

- 多量に飲酒する人の割合の減少
- 未成年者の飲酒をなくす
- 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及

町健康増進計画「元気ニコニコしらたか21」では、アルコールの目標を「週5日以上飲酒習慣がある」人の割合を減少することとしました。アルコールによる健康被害をできるだけ少なくするために、休肝日を週2日以上にするよう啓発しています。

健康日本21

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）



ひこうき雲

冬空の下、寒さに負けず元気に遊ぶ子どもたち。空を見上げ”ひこうき雲”を発見！
 保育士「ほら、みて。ひこうき雲だよ！」
 Aくん「ひこうきはお絵描きが大好きなんだね」
 Bくん「うん、お絵描きが楽しいんだよ」

何型？

Cちゃん「先生！わたしA型（血液型）先生は？」
 保育士「先生は、B型。」
 Dくん「先生！ほく新型！」
 Cちゃん「新型なんてないよー」
 Dくん「だってお医者さんが言っていたもん。」

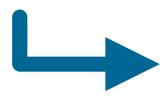
行っています。らうためにさまざま活動を行っています。

いつまでも、住みなれた地域で顔なじみの関係を保ちながら安心・安全に生活し、認知症になっても地域の一員として暮らし続けたい、また、認知症の家族を抱えても地域や周りに理解してもらい、安心して生活したい…これは多くの町民の願いです。

認知症になっても安心して自分らしく生きられる白鷹町を目指して

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会

- 協議会の役割
 - ・認知症に対する正しい理解を深める
 - ・各組織への認知症に対する啓蒙や、研修会の参加呼びかけ
 - ・徘徊高齢者を抱える家族からの協力依頼体制の整備



協議会の内容を組織に伝達

町内各組織

区長・町内長、民生委員・児童委員、人権擁護委員、商工会女性部、健康づくり推進委員、婦人会、元気ニコニコ推進会議、長井警察署白鷹東駐在所、西置賜行政組合消防署白鷹分署



話し合いの風景



西中学校認知症講演会での寸劇

自分たちで話し合ったことを自分たちで実践し、伝える協議会活動を行っています。

次回は、協議会の活動内容を紹介します。

山形県の最低賃金

使用者は、すべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む）に対して、この賃金額以上の金額を支払わなければなりません。
 ■相談・問い合わせ
 山形労働局労働基準部賃金室
 (☎023-624-8224)

		金額	効力発生日
産業別最低賃金	山形県最低賃金	1時間 631円	平成21年10月18日
	電気機械器具等製造業	1時間 715円	平成21年12月25日
	一般産業用機械・装置等製造業	1時間 730円	
	自動車・同附属品製造業	1時間 731円	
	自動車整備業	1時間 733円	
	家具製造業	1時間 636円	平成10年3月4日
		1日 5,085円	
医療用機械器具等製造業		1時間 634円	平成8年1月10日
		1日 5,070円	

新型インフルエンザワクチン集団接種について

町内医療機関にご協力いただき下記の対象者（基礎疾患のないかた）に集団接種を実施しています。詳しくは健康福祉課健康推進係までお問い合わせください。

集団接種の対象者	日 程 等
1歳～小学校3年生	1回目は終了。2回目は、1月8日～10日・14日実施。
小学校4～6年生	1回目は終了。2回目は1月22日（金）実施。
中学生	1月15日（金）・17日（日）実施。
高校生	1月中旬から下旬に2日間の日程で実施予定。

新型インフルエンザワクチン接種費用の助成について

町では、町内に住所があり、接種時に1歳から中学3年生のかた（接種費用軽減対象の方を除く）を対象に、1回目の接種費用全額（3,600円）を助成しています。

これから接種を受ける場合	町内医療機関窓口で年齢を確認できる書類（母子手帳、健康保険証など）を掲示して接種を受けてください。医療機関での支払いはありません。 町外医療機関で接種を受ける場合は医療機関窓口で接種費用を支払った後、下記の償還払いの申請をしてください。
既に接種を受け、接種費用を支払った場合	償還払いの申請をすることで助成が受けられます。健康福祉課窓口にて、接種費用の領収書、接種したことを確認できる書類（接種済証・母子手帳）、印鑑、払い戻し先の金融機関口座番号などがわかるもの（通帳など）を持参のうえ、申請をしてください。

※上記とは別に、町民税非課税世帯のかたは接種費用の軽減が受けられます。証明書を発行しますので、接種の前に健康福祉課窓口にて印鑑持参のうえ申請をしてください。

■問い合わせ

新型インフルエンザ対策本部事務局（健康福祉課健康推進係） ☎86-0210

12月の町長交際費

平成22年12月に支出された町長交際費についてお知らせします。

■問い合わせ 総務課総務係
(☎85-6120)

支出命令日	区分	支出命令額	備 考
12月 1日	御祝	3,000円	鷹山を語る会
12月 4日	御祝	3,000円	深山地区中山間地域等直接支払いに関する懇談会
12月 8日	香典	10,000円	
12月 11日	御祝	3,000円	どりいむ農園直売所
12月 11日	御祝	3,000円	下山さくら街道地域づくり祝賀会
12月 15日	御祝	10,500円	文屋小百合氏「蝶々夫人」公演
12月 15日	献花	15,000円	弔慰生花
12月 15日	激励金	10,000円	JICA ボランティア激励金
12月 18日	御祝	3,000円	四季の郷駅冬の感謝祭
12月 18日	香典	10,000円	
12月 24日	御祝	5,000円	白鷹ライオンズクラブクリスマス例会
12月 25日	御祝	3,100円	ヤナ仕舞と鮎供養祭
12月 25日	協賛	15,000円	モンテディオ市町村応援デー
12月 25日	贈答品	31,110円	須藤永一郎氏ほか
12月 28日	御祝	5,000円	荒砥地区新春交流会
	計	129,710円	

●図書館休館日のお知らせ 1月25日(月)から29日(金)まで蔵書点検のため休ませていただきます。ご迷惑をおかけしますが、宜しくお願いいたします。

■問い合わせ 白鷹町立図書館 (☎85-2111)



役場は ☎85-2111



ニュースポーツ教室

▼いつ 1月26日(火)

午後7時15分～

▼どこで 蚕桑小学校体育館

▼内容 ドッチビー
柔らかな素材のフリスビーを使用したスポーツで、さまざまなバリエーションを紹介します。当たっても痛くないので、どなたでも気軽に楽しめます。

▼講師 体育指導委員会
▼持ち物 シューズ・タオル・飲み物

▼主催 総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

■問い合わせ 教育委員会生涯スポーツ係 (☎85-6147)

フラダンスの無料体験会

現在中央公民館で活動して

いるフラダンスサークルの無料体験ができます。やさしく、楽しく、ストレス解消や美容と健康にぜひどうぞ。初心者や男性のかたも大歓迎です。動きやすい服装でおいでください。

▼いつ 2月2日(火)

16日(火)

▼会場 中央公民館文化実習室

▼持ち物 ウェットティッシュ

▼クラス

①ケイキクラス

○時間 午後5時15分～6時30分

○対象 年長児～小学6年生

②イリマクラス

○時間 午後6時30分～8時

○対象 どなたでも

③ワヒネクラス

○時間 午後8時～9時30分

○対象 中学生～40歳

■申込・問い合わせ カフラ

・オ・ハワイ/松下まなみ

(☎090-9532-0047)

47)

冬の山形おきたま伝統野菜料理講習会・発表試食会

▼いつ 2月24日(水)

午前9時30分～午後1時

▼どこで 置賜総合文化センター

ター(米沢市金池3丁目1-

14)

※託児所を準備しますので、必要な方は事前に申込んで下さい。

▼内容 新レシピ「創作なおえ料理」による雪菜、小野川豆もやし、花作大根などを使った料理講習会・事例紹介

▼参加費 無料

※事前申込みが必要です。

▼定員 50人

▼募集期間 2月1日(月)～12日(金)

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 園芸振興担当 (☎0238-2616051)

51)

十割そば打ちを通して地球温暖化を考えてみよう

①川西町会場

▼いつ 1月30日(土)

午前10時～午後2時

▼どこで 川西町農村環境改善センター(川西町大字中小松2240-2)

▼参加費 大人 500円

子供 無料

※打ったそばは昼食として食べます。持ち帰りはありません。

▼持ち物 エプロン、三角巾、せん。

マイはし

▼参加人数 50人(申し込み先着順)

②米沢市会場

▼いつ 2月20日(土)

午前10時～午後2時

▼どこで 米沢市すこやかセンター(米沢市西大通二丁目5-60)

5-60)

※以下、川西町会場と同じ

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁環境課 (☎0238-2616035)

26-6035)



西置賜就職面談会の開催と参加企業の募集

長井・西置賜地域では、依然厳しい雇用失業情勢が続いており、早期就職を願う多くのかたがたのため就職面談会を開催します。お仕事をお探しのかたは、事前の申込は必要ありません。お気軽にご参加ください。

また、長井・西置賜地域の事業所の皆さまには優秀な人材獲得の絶好の機会です。多くの事業所からの参加をお待ちしています。

ちしています。

詳しくは、お問い合わせください。

▼いつ 2月9日(火)

午後1時30分～4時

(受付は午後1時～)

▼どこで タスパークホテル2階コンベンションホール

▼参加事業所の申込締切

1月29日(金)

■申込・問い合わせ

長井公共職業安定所 担当・竹田 (☎84-8609)

8609)

やまがた緑環境税を活用し森づくり活動を支援します

平成22年度みどり環境公募事業による県民参加の森づくり活動の募集を行います。

▼支援する活動内容

平成22年度に実施する取組み

①森林・自然環境学習

②自然環境の保全活動

③豊かな森づくり活動

④森林資源の利活用

▼募集期間 1月12日(火)～2月16日(火)

■問い合わせ 町産業振興課

(☎85-6125)、置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室(☎0238-359053)

35-9053)

35-9053)

啓翁桜フォトコンテスト

白鷹町特産となった啓翁桜。この冬も全国各地で楽しんでいただいています。もうひとつのお楽しみとして、啓翁桜の写真を撮って応募してみませんか。

▼対象作品 啓翁桜が写っているもの（つぼみ、咲きはじめ、満開、葉桜など）

▼応募形式 プリント写真、デジタルカメラで撮影した画像データなど

▼各賞 金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、サンファーム賞、白鷹賞など

▼賞品 白鷹町の特産品など

▼締め切り 3月25日（木）

▼各賞発表 4月1日にホームページにて発表します。

▼その他
○ご応募いただいた写真（画像）はお返ししませんのでご了承ください。

○今後サンファームしらたかのホームページ、カタログ、チラシなどに使わせていただく予定です。

最上川検定2009 受検者募集

母なる川「最上川」と地域のつながりや魅力を再発見して「最上川博士」になりませんか。

▼いつ 2月28日（日）
午後1時30分～
午後1時30分（受付午後1時～）

▼どこで 長井市民文化会館

▼受検料 無料

▼受検項目
○最上川マスター（一般）の部
○最上川ジュニアマスター（小学生）の部

▼申込締切 2月5日（金）

※当日消印有効

▼申込方法 美しい山形・最上川フォーラム「最上川検定事務局」まで郵送またはファックスにて申し込みください。

※申込書はホームページからダウンロードすることもできます。

▼その他 合格者には認定証を交付します。
▼申込・テキストの請求・問い合わせ 美しい山形・最上川フォーラム「最上川検定事務局」
山形市小白川町1-4-12
（山形大学小白川キャンパス

内／☎090-5837-4944 / ファックス023-666-3738 / ホームページ <http://mogamigawa.gr.jp>



認知症の人と家族の会開催

認知症の介護に関する悩みや不安はさまざまです。認知症の人を介護しているかたが集まって話し合う会を開催します。認知症に関する相談もお受けします。ぜひご参加ください。

▼いつ 1月28日（木）
午後1時30分～3時

▼どこで 健康福祉センター

▼対象者 認知症の人と家族のかた、介護者のかたなど

■申込・問い合わせ
地域包括支援センター
（☎86-0112）

平成22年度指名競争入札参加資格審査申請（追加）の手續きについて
建設工事、測量・コンサル
タントなどの指名競争入札

（追加受付）に参加を希望される場合は「白鷹町入札参加資格審査申請要綱」により申請してください。要綱は建設水道課または町ホームページでもご覧いただけます。

なお、郵送による申請の場合は、2月26日到着分（必着）まで受け付けます。

▼受付期間 2月1日（月）～26日（金）
（土、日、祝日は除く）

▼受付時間 午前9時～12時
午後1時～4時30分

■問い合わせ 建設水道課
理係（☎85-6140）

《雪処理による犠牲者ゼロに向けて》

雪害による犠牲者は、風水害に次ぐ第二の自然災害になっています。特に、65歳以上の高齢者のかたの事故が多くなっています。

事故の特徴

- ①屋根からの転落による事故が多い。
- ②1人で作業し作業を始めてから間もない事故が多い。
- ③高齢者の事故の多くは「他の人をお願いするのは気兼ねする」、「体力的に無理と思わない」が原因。
- ④除雪機による事故が多い。

心がけましょう！除雪中の事故防止のための6か条

- 作業は家族、隣近所にも声掛けて！
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- 作業開始直後と、疲れたころは特に慎重に！
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで！
- はしごの固定を忘れずに！
- 除雪機の雪詰まりの除去はエンジンを切ってから！

広告

■ガラス修理

アルミサッシ・木製建具・額縁・ペアガラス入替

■サッシ修理

戸車交換・建付調整・玄関錠交換
アミ戸修理・販売・張替



↑もしもの時の携帯登録

出張修理いたします

Benyez
ヤマシチ商店

鮎貝内町 電話:85-3134
営業時間 7:00-22:00(年中無休)

戸籍の窓

【12月1日～12月31日届出】

ご結婚おめでとう

氏名 住所
 (鈴木 栄裕 畔藤
 高橋 由美子 米沢市)

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
高玉	金田 雄一郎 雄奈	りゅうのすけ 隆之介
高玉	藁品 慎一 一織	か花 穂
鮎貝	佐藤 真光 真ゆみ	こう光 雅
中山	佐藤 和広 和由美	れい伶 多
荒砥甲	菊地 吉将 将薫	ひ陽 心
萩野	紺野 桂馬 馬穂	る瑠 菜
高玉	長谷部 克広 広保	なる成
十王	吉田 浩幸 幸子	みつ光 稀
深山	羽田 大智 輔美	かい海 二
箕和田	松林 智樹 樹み	ひ雛 愛

おくやみ

住所	氏名	年齢
広野	鈴木 守	42
浅立	高橋 ツカ	93
鮎貝	鈴木 まさの	92
荒砥乙	橋本 寿美子	85
鮎貝	海野 次	83
荒砥乙	鈴木 とり	98
深山	羽田 眞佐子	80
浅立	高橋 せん	84
畔藤	菅原 サダ	83
横田尻	土屋 とく	89
荒砥乙	橋本 五郎	96
浅立	湯澤 龍夫	81
荒砥甲	後藤 みつ	86
荒砥乙	高橋 洋子	68
山口	川野 さわ	97
荒砥甲	木内 清次郎	96
荒砥甲	菅野 庄次郎	94
鮎貝	御代田 寛	91
荒砥甲	蹄 貞夫	70

戸籍の窓にのせたくないかたは、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。

サークル 輪 通信 VOL.1

みんなで広げる

今月から、町内のメンバーを中心に活動するさまざまな団体を紹介します。



おようかい
よさこい白鷹櫻鷹會 (代表 奥山さち子さん)

◆結成時期・きっかけは？
 ○結成は平成14年9月です。川西町のよさこいを見て感動し、友人5人で始めました。

◆メンバー構成は？
 ○小学生から大人(上は50代)まで、35人(うち男性3人)で活動しています。

◆活動内容は？
 ○毎週土曜日、夜7時から中央公民館で練習し、地区のお祭りやイベントで踊らせていただいています。

◆今後の目標などは？
 ○まずは、メンバーみんなで楽しく踊ること。それから、毎年仙台市で開催される「よさこいまつり」に参加したいですが、今年はオリジナルの音楽と振り付けで参加する予定なので、みんなで一生懸命練習しています。



フラワー長井線まつりにて



昨年のよさこいまつりにて受賞した「よさびと賞」

◆最後にひと言
 ○よさこいに興味のあるかた、いつでも歓迎します。一度練習を見に来てください。(特に、親子・男性大歓迎！)

▼あけましておめでとうございませう。皆さんどんな正月を過ごしましたか。私は、羽黒神社に初詣に行ってきました。時折吹雪く天候の中、約30分ほど歩いて到着。御神酒をいただき、一緒に行ったかたと地域のことなどを語りながら過ごしました。

▼今回の新春特集では、12人の男女年女のかたにご協力いただきました。良く知らないかたにインタビューするということで、正直最初は不安でしたが、普段聞くことのできないかたのお話を聞いたり、快く引き受けてくださった皆さんと接して、人の温かさや人と人とのつながりの大切さを実感しました。

▼今月号からサークル紹介コーナーをはじめました。この紙面を通じて、新しい仲間やサークル同志のつながりが増えてくれるとうれしいです。本年もよろしくお願いたします。(おおたき)

SELF JUDGE
 編集後記

広報しらたかは再生紙を使用しています。